

あなたも気づかないうちに感染しているかも…

肝炎ウイルス検査は おすすめですか？

肝がん・肝硬変で亡くなる方は毎年5万人以上。肝がんの9割はB型・C型の肝炎ウイルスが原因です。

B型・C型肝炎ウイルスの感染経路は血液などに限られていますが、日本では約30年前まで集団予防接種で注射器を使いまわしていたこともあり、気づかずに感染した人が少なくありません。30代以上なら、誰が感染していてもおかしくありません。

肝臓は「沈黙の臓器」とよばれ、深刻な症状になるまで自覚症状はありません。とくにB型肝炎は肝臓の検査結果が正常でも、お年をめすにつれて、突然に肝がんを発症することがあります。自分や家族のためにも、必ず一度は肝炎ウイルス検査を受けましょう。

無料の検診制度などがあります。お住まいの自治体・保健所にお問い合わせください。



もし感染していても…

給付金が受けられることがあります。

もし肝炎ウイルスに感染していたら、病院で精密検査を受けることが必要です。その後も継続的な経過観察や、場合によっては治療が必要になります。

B型肝炎ウイルスの感染者は、集団予防接種の被害者への賠償として、国から「給付金」を受けられることがあります。時間がたつほど、ご家族の逝去やカルテの廃棄などで、被害者と認められることが難しくなります。全国のB型肝炎訴訟弁護団まで、お早めにご相談ください。

全国B型肝炎訴訟東京原告団・弁護団

(ご相談・連絡先) 〒160-0004 東京都新宿区四谷1-4 四谷駅前ビル 東京法律事務所内

☎03-3355-0611 FAX 03-3357-5742 <http://bkan.jp> (「B型肝炎 弁護団」で検索)

**B型肝炎訴訟の
2つの目的**

- ① 集団予防接種でB型肝炎ウイルスに感染させられた被害者のすみやかな個別救済
- ② すべてのウイルス性肝炎患者が安心して医療を受けられる体勢の整備

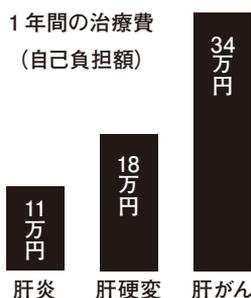
国会への請願署名にご協力をお願いします。

B型・C型肝炎医療制度の拡充へ

B型肝炎・C型肝炎など、ウイルス型肝炎患者・感染者（キャリア）は、日本国内に約250万人おり、毎日、約100人が亡くなっていると推計されています。

これだけ人数が多いのは、輸血や予防接種などにおいて、ずさんな医療・公衆衛生の行政が感染を拡げたからです。将来への不安や高い治療費に苦しむ患者・キャリアが安心できる医療制度を作ることは、国の責任です。

① 肝がん・肝硬変への医療費助成



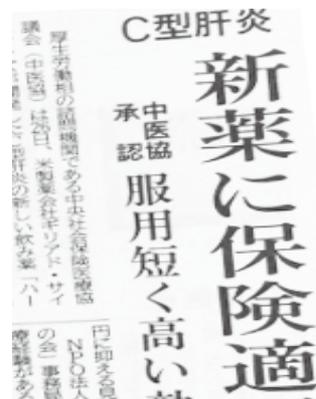
政府の調査でも、B型肝炎・肝硬変の患者は、毎年34万円、18万円という大きな自己負担に苦しんでいます。現在の助成制度は、ウイルス量の抑制や重症化予防など、おもに症状の軽い方むけであり、肝がん・肝硬変むけの医療費助成制度が必要です。

一昨年、厚労大臣が実現の意向を示し、昨年、参議院も署名を採択しました。早期実現にご協力ください。

② B型肝炎をなおせる薬の開発

C型肝炎には、ウイルスを体から排除できる新薬ができ、「なおる時代」と言われます。一方、B型肝炎では、ウイルスを減らす薬も、中断すると悪化のおそれがあり、一生、やめることができません。

私たちからの要望も受けて、国も、B型肝炎ウイルスを体から排除できる新薬開発（創薬）などの研究に支援を始めています。一刻も早い実現へ、研究開発のいっそうの促進を私たちは願っています。



署名用紙の注文書

〒	
住所	
お名前	
電話番号	
署名用紙（1枚5名分）	枚

集めた署名の郵送先

〒160-0004
東京都新宿区四谷 1-4
四谷駅前ビル
東京法律事務所内
全国B型肝炎訴訟
原告団・弁護団宛
☎03-3355-0611